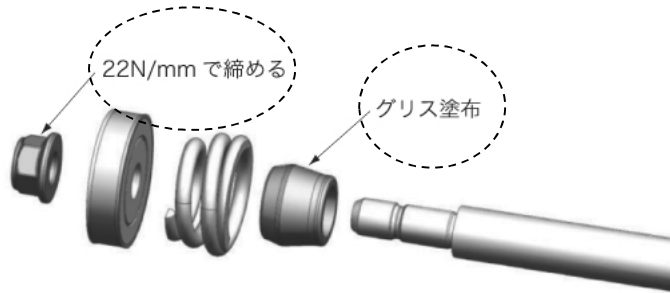


改善箇所説明図

ショックアブソーバー内部



不具合発生箇所

ショックアブソーバー内のピストンとピストンシャフトを締結するナットの締め付け工程が不適切なため、正しいトルクで締めていても緩む場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ナットが外れ、緩衝機能が低下して、走行安定性を損なうおそれがある。

改善の内容

製品番号及びバッチナンバーを確認し、該当するものは、リアショックアブソーバーを分解し、ピストン及び接続する部品を正しい方法で組み直しを行う。

注：点線で囲んだ箇所が対策箇所になります。